

株式会社なかほり

東京都板橋区

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

老舗に根付く日本古来の香りの文化を継承しつつ、次世代・新事業が新たな取組にチャレンジ

- 老舗の傘下で“西洋”の文化を背景に持つ次世代が新たなブランド・新事業を立ち上げ
- ハンドメイドによる小ロット対応により新たな企画や取引を実現する
- 新しい香り・ライフスタイルの提案を目指して新事業で海外販路開拓も開始

企業基本情報

所在地	東京都板橋区板橋 4-15-3
電話/FAX	03-3961-9038/03-3579-9718
URL	http://www.nakahori.co.jp/
代表者	代表取締役 中堀 敏夫
設立	1935年
資本金	1,200万円
従業員数	6人



会社概要

1935年創業、寺院向けに線香を卸す卸問屋としてスタート。以来、2代に渡り寺院を中心に線香を提供し続けている。国内のみならず、アメリカなど海外の寺院にも販売、輸出も行ってきた。

2014年、日本古来の香りの文化を継承しつつ、現代に、また日本国内はもちろん世界へと新しい香りのあるライフスタイルを提案するブランドとして、株式会社なかほりの傘下で新ブランド「東京香堂」がスタート。さらに新しいマーケットへのアプローチを進めている。



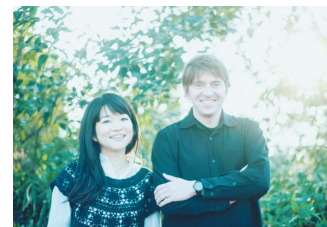
会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶「東京香堂」で新たな用途・新たなマーケットを開拓

創業者を祖父に持ち、香りの都グラス（南フランス）で調香を学んだペレス千夏子と、グラス出身で香料会社で13年間、調香のための原料に携わったペレス・ジョフレが、なかほりの傘下で新たに立ち上げた「東京香堂」。

現代に、そして日本はもちろん世界に香りのあるライフスタイルを提案するべく、「インテリアアロマインセンス」というポジショニングで、なかほりにとって新たなマーケット・用途に向けた商品開発・販路の開拓を行っている。



“西洋”を背景に持つ次世代による「東京香堂」

▶▶▶ハンドメイドによる小ロット対応から生まれる新たな展開

先代の頃から拠点とする東京オフィスから離れ、近くに利根川が流れる自然豊かな群馬県みなかみ町にある小さなアトリエを開設。ここでは、調香及びハンドメイドのお香サンプル制作や少量の商品のプロダクションが行われている。

ここでの小ロット対応により、コラボ商品などの企画品や、少量から始める新たな取引の実現が可能に。フットワークの軽い対応で、顧客とのWin-Winにもつながっている。



Win-Winをドライブするアトリエでの少量プロダクション

▶▶▶一部ではあるが、従来より進めて来た海外での線香需要。新事業でも海外を狙う

同社では国内の寺院のみならず、アメリカの寺院向けにお香の販売をするなど、かねてより海外ビジネスに取り組んできた。

特に新事業である「東京香堂」では、新しい香り・ライフスタイルの提案を目指して、欧米市場のライフスタイルショップへの販売や現地の展示会参加を通じて販路の開拓に向け動き始めている。海外ショップとの取引も早くも始まり、今後も国内と平行して、積極的に海外市場に向けた展開を予定している。



世界へと動き始めた「東京香堂」